

■しずだい産学連携メールマガジンVol. 56

2012年8月21日発行 【毎月第3火曜日】

⇒静大イノベーション社会連携推進機構より、お知らせやイベント情報をお届けします。<http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/>からもご覧頂けます。

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

1. 「第8回しんきんビジネスマッチング ビジネスフェア2012」に出展します
2. 「イノベーションジャパン2012」に出展します
3. 「産学連携を成功させる秘訣
HI-Cube卒業企業・静岡大学・産学連携成功事例」ご案内
4. 「静岡大学食品・生物産業創出拠点 第30回研究会
しみず新事業創出研究会 合同研究会」案内
5. 「第75回記念「産学官交流」講演会・交流会」ご案内
6. 「サイエンスカフェin浜松」ご案内
7. 「2012年度 レーザーによるものづくり中核人材育成講座」案内
8. 「週末パテントセミナー2012in静岡」のご案内

※問合せ先のアドレスは、スパムメール防止のため表記を一部変更して
います。メール送信の際は[at]を@に変更してください。

-
1. 「第8回しんきんビジネスマッチング 名古屋」ご案内
～しんきんパワーで創りあげる人と人をつなぐ“場”～

日時 2012年9月7日（金）10:00～17:00
会場 ポートメッセ名古屋（名古屋市国際展示場）第3展示館・交流センター
主催 一般社団法人東海地区信用金庫協会

主旨 東海地区（岐阜県・静岡県・愛知県・三重県）の事業意欲旺盛なお客様に価値ある「出会い」を提供し、ビジネスニーズの共有と販路拡大などビジネスチャンスの創出を強力にバックアップ、企業および地域の活性化を推進します

<ブースNo. M-3>
静岡大学との産学連携スキームと静大発ベンチャー企業を紹介します

入場料 無料
詳細 <http://www.business-fair.jp/index.html>
問合せ先 静岡大学イノベーション社会連携推進機構
TEL : 053-478-1713

-
2. 「イノベーション・ジャパン2012」ご案内
～知を育み、価値を生む 絶え間ないイノベーション創出へ～

日時 2012年9月27日（木） 9:30～17:30
28日（金）10:00～17:00
会場 東京国際フォーラム B2F展示ホール
主催 独立行政法人 科学技術振興機構、
独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構
入場料 無料
詳細 <http://www.innovation-japan.jp/>

<会場展示>

- 「非接触非破壊で食品の硬さを測定する計測器」小間番号：L-24
工学部電気電子工学科 教授 犬塚博
- 「開口共用マルチバンドアレーアンテナ」小間番号：I-19
工学部電気電子工学科 教授 桑原義彦
- 「深部生体組織の非侵襲的酸素動態計測装置の開発」小間番号：W-26
工学部電気電子工学科 准教授 庭山雅嗣
- 「地下圏微生物を利用した付加帯エネルギー生産システム」小間番号：E-19
理学部地球科学科 講師 木村浩之

3. 「産学連携を成功させる秘訣
HI-Cube卒業企業・静岡大学・産学連携成功事例」ご案内

HI-Cubeビジネスサポートセミナー「産学連携を成功させる秘訣 HI-Cube卒業企業・静岡大学・産学連携成功事例」を開催します。

浜松イノベーションキューブ (HI-Cube) では、産学連携の当事者をお招きし、産学連携の一般的な進め方や、産学連携の成功事例についてお話していただきます。是非、ご参加ください。

日時：平成24年8月31日（金曜日）16時から18時

場所：浜松イノベーションキューブ (HI-Cube) 2階会議室
(浜松市中区和地山3-1-7)

講師：(第一部) 静岡大学イノベーション社会連携推進機構
産学官連携コーディネーター 特任教授 齊藤 久男 氏
(第二部：その一) 有限会社パパラボ 代表取締役 加藤 誠 氏
(第二部：その二) 静岡大学イノベーション社会連携推進機構
特任教授 工学博士 下平 美文 氏

参加費：無料

定員：30名

お申込：電話 053-478-0141 または E-メール info[at]hi-cube.jp

<詳細はこちら↓>

<http://www.smrj.go.jp/incubation/hi-cube/seminar/069528.html>

4. 静岡大学食品・生物産業創出拠点 第30回研究会
しみず新事業創出研究会 合同研究会 案内

日時 2012年9月14日（金）13：30～16：45（開場：13：10）
場所 アクトシティ浜松 コンgressセンター5F 52.53.54会議室
主催 静岡大学食品・生物産業創出拠点
共催 しみず新事業創出研究会・駿河湾地域事業化プロジェクト
後援 公益財団法人 静岡県産業振興財団
公益財団法人 浜松地域イノベーション推進機構
静岡化学工業懇話会

講演

主題：食品の機能性と健康

- ①『天然GABAを含む野菜摂取及び匂いによるヒトへの神経生理学的効果』
13:30～14:15

静岡大学創造科学技術大学院 講師 沖田善光 氏

②『健康食品素材の機能性研究』 14:15~15:00
株式会社ファンケル 総合研究所 副所長 山口宏二 氏

③『好中球の免疫反応を利用した新規食品機能性評価法』 15:15~16:00
浜松ホトニクス株式会社 中央研究所研究員 数村公子 氏

④『我が国の妊婦における栄養摂取の不足と次世代の肥満発症リスク』
16:00~16:45
浜松医科大学附属病院周産母子センター教授 伊東宏晃 氏

<研究会参加費>

会員・共催・後援団体会員及び学生…無料

会員外…1,000円

(当日、受付にてお願いします。)

<懇親会参加費>

会員…3,000円

会員外…5,000円

(当日、受付にてお願いします。)

<参加申込み・問い合わせ先>

申込期日：9月5日(水)

静岡大学食品・生物産業創出拠点 事務局

E-mail oshirao[at]ipc.shizuoka.ac.jp

5. ~第75回記念「産学官交流」講演会・交流会~ご案内

日時 2012年9月21日(金) 16:00~20:00
会場 静岡商工会議所・清水事務所3F・1F
主催 静岡市清水産業・情報プラザ(指定管理者：静岡商工会議所)
共催 新産業開発振興機構

16:00 開会

16:20-17:00 基調講演 静岡大学・名誉教授 土居 英二
-17:45 講演1 静岡大学・電子工学研究所 准教授 青木 徹
-18:30 講演2 静岡大学・工学部電気電子工学科 准教授 橋本 岳

18:45-20:00 交流会 1F多目的ホール

参加費：無料

定員：50名

お申込：FAXまたはEメールでお申込みください

<詳細はこちら↓>

静岡商工会議所 新産業課 (担当：相磯、杉山)

TEL:054-355-5400 FAX:054-340-5117

E-mail info2[at]nio-s.net

6. 「サイエンスカフェin浜松」ご案内

サイエンスカフェin浜松は、静岡大学の浜松キャンパスで行っている

月1開催の公開型お茶会です。ホストの研究者が話題を提供し、それを話のタネにして皆で楽しくおしゃべりする会です。
コーヒー、紅茶や簡単なお茶菓子も用意しております。
お誘い合わせの上、みなさまのお越しをお待ちしております。

【第5回】

日時 2012年9月27日(木) 18:00~20:00
会場 静岡大学高柳記念未来技術創造館(静岡県浜松市中区城北3-5-1)
テーマ 「人間らしい賢い対話システムを創るには？」
情報学部情報科学科 桐山伸也
「音をあやつる」工学部電気電子工学科 立蔵洋介
参加費 無料
申込み 不要(各回30名ほどの先着順)お車での来場もOKです
詳細 <http://www.nvrc.rie.shizuoka.ac.jp/takayanagi/data/sc2012a.pdf>
問合せ 静岡大学高柳記念未来技術創造館
TEL 053-478-1402(10時~16時 月曜休)
E-mail tmh[at]ipc.shizuoka.ac.jp

7. 「2012年度 レーザーによるものづくり中核人材育成講座」案内
~明日を輝かせる光技術:世界初!レーザー加工技術の総合講座~

日時 2012年8月24日(金)~2012年12月8日(土)
基礎コース:8月24日(金)開講 全6日間
加工技術コース:10月5日(金)開講 全6日間
産業応用コース:11月9日(金)開講 全6日間
会場 講義/基礎コース:サーラシティ浜松(浜松市中区砂山町)
加工技術・産業応用コース:浜松労政会館(浜松市中区東伊場)
実習/浜松工業技術支援センター(浜松市北区新都田)
募集人員 1コースあたり 20名程度
※定員になり次第受付終了とさせていただきます。
※3コース受講いただける方を優先させていただきます。
受講料 3コース受講の場合 ¥180,000(税込)
1コース受講の場合 各コース¥75,000(税込)
※昼食代、交流会費用などは含まれておりません。
※選択受講は可能ですが、3コース全ての受講を基本としています。
※静岡県内の中小企業にご所属の方は受講料の減免があります。
詳細 <http://www.gpi.ac.jp/chukaku/2012entry.html>
問合せ/申込先 光産業創成大学院大学
レーザーによるものづくり中核人材育成事業 事務局
TEL 053-484-2170 FAX 053-487-3012
E-mail info.chukaku[at]gpi.ac.jp

8. 「週末パテントセミナー2012in静岡」のご案内

■浜松会場 【静岡大学 佐鳴会館】

第1回 2012年10月5日(金) 14:25~16:55

拒絶理由通知に負けない特許出願

~拒絶理由通知への対応を中心に、特許出願時の注意点~

神谷 直慈 弁理士

(静岡大学イノベーション社会連携推進機構 特任准教授)

第2回 2012年10月19日(金) 14:25~16:55

仮想事例でリアルに考える「実践!均等論」

～これって特許権侵害？～
居藤 洋之弁理士

第3回 2012年11月2日（金）14：25～16：55
意匠、商標の活用で商品を守れ
～商品の模倣は顔・姿から～
東山 喬彦弁理士

第4回 2012年11月16日（金）14：25～16：55
著作権法、不正競争防止法について
～そのコピー、違法ではないですか？～
宮田 逸江弁護士

■静岡会場 【静岡県立大学】

第1回 2012年10月12日（金）14：40～17：10
拒絶理由通知に負けない特許出願
～拒絶理由通知への対応を中心に、特許出願時の注意点～
神谷 直慈弁理士
（静岡大学イノベーション社会連携推進機構 特任准教授）

第2回 2012年10月26日（金）14：40～17：10
著作権法、不正競争防止法について
～そのコピー、違法ではないですか？～
宮田 逸江弁護士

第3回 2012年11月9日（金）14：40～17：10
仮想事例でリアルに考える「実践！均等論」
～これって特許権侵害？～
居藤 洋之弁理士

第4回 2012年12月7日（金）14：40～17：10
意匠、商標の活用で商品を守れ
～商品の模倣は顔・姿から～
東山 喬彦弁理士

対象 一般、中小企業経営者、知財関係者、教職員、学生など
参加費 無料
主催 日本弁理士会東海支部、東海 i N E T
協力 国立大学法人静岡大学、静岡県公立大学法人静岡県立大学
詳細/申込 http://www.jpaa-tokai.jp/topics/detail_243_0_.html
問合せ先 日本弁理士会東海支部
TEL 052-211-3110 E-mail info-tokai[at]jpaa.or.jp

《 みんなのコラム -55- 》

記：工学部システム工学科 教授 海老澤嘉伸

平成元年に静岡大学に赴任して、それまで進めてきた人間の視覚・眼球運動と視覚注意の関係の研究に加えて、重度身体障がい者用コミュニケーションのためのパソコン画面上の注視点（見ている所）をビデオカメラと近赤外光源を用いて検出する装置の開発研究を始めた。前者の研究は真理の探究で奥深い、後者は目的が明解で人に役立つ研究に思えたし、最終的には「ドライバーの運転支援システム」に使用されるかもしれないという期待感

を抱きながら研究を開始したのを思い出す。

装置開発を始めて数年後に、人伝えで企業とのかかわりができた。当時は、学内の産学連携を支援する組織が明確でなかったように思えたので、自分が直接企業と関わった。その際に、大学の教員が個人で企業と関わることの難しさを学んだ。

その後、長期間にわたり、科研費や財団の助成金などで、少しずつ装置の改善や経験を重ねた。平成14年、ブレイクスルーが必要に感じる時期になっていたちょうどその頃、文部科学省の浜松地域知的クラスター創成事業（5年間）への参加の話をいただいた。この事業が自分の装置開発研究には向いていると思ひ、参加をさせていただくことにした。

そこでは、研究コーディネータに月一で研究成果報告を行ったり、評価者の前で発表をしたり、装置の展示会への出展などが目白押しだった。2年目からは、月一で特許案を説明する機会も得られ、特許出願をするようになった。それらすべてが新しく刺激的な体験であり、組織的に研究を進めている感覚を得た。

そのころ、大学内の産学連携チームや知的財産部との関わりもできて、企業との共同研究に関しても、学内のコーディネータの支援を受けるようになった。それによって、企業との関係について気を配ることもなく、本来の研究に集中でき、複数の共同研究の同時進行も容易になった。

企業との共同研究には、研究室の学生達が良く協力してくれた。研究室内で閉じられた研究よりも企業から期待される研究に、彼らも期待を感じるのだと思う。一方で、卒業論文を書くこととの両立に関して多少難しい面もあったが、共同研究自体を卒業論文の内容に近いものにする事で負担を軽減した。

平成20年、浜松医科大学からの話により、「注視点検出に基づく自閉症乳幼児の早期発見」という私にとっては予想外の用途も見いだされた。関係者からは、私共の注視点検出技術をもとにした診断支援システムの製品化への強い要望がある。

近々の数年間に、お陰様で私共の発明も、多くが特許化された。それが理由か、知的クラスター開始後の共同研究のほとんどは、当該研究室で開発した装置を企業側で使用して、装置の評価をするといったスタイルだったのだが、最近は装置の情報を企業側に開示し、企業側で装置を試作するようになってきた。益々、コーディネータやその周囲の方々のお力をお借りしなければならないステージに入ってきたと思う。なお一層のお力添えをお願いしたい。

《 編集後記 》

日本中が熱狂したロンドンオリンピックが終わり、少し寂しい思いをされている皆さんもいらっしゃるのではないのでしょうか。

「どのメダルが一番感動的でしたか？」という質問をよく聞きますが、たとえメダルは取れなくても、押し潰されそうな重圧の中、ベストを尽したアスリートの姿はどれも感動的で、少し元気をなくしている日本に勇気をくれたと思います。激動の時代、未来を予測するのは簡単なことではありませんが、4年後のリオ・デ・ジャネイロのオリンピックの時、大学は、産学連携は、そして日本はどうなっているのでしょうか・・・

--*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*

◆メールマガジンに関するお問合せ・配信先変更・担当者変更・配信中止のご連絡は、[sangakukoho5\[at\]cjrr.shizuoka.ac.jp](mailto:sangakukoho5@cjrr.shizuoka.ac.jp) までお願いします。（↑送付の際は[at]を@に変更してください。）

◆本メールマガジンの商業用の転載はお断りいたします。

発 | 行 | 者 |



国立大学法人静岡大学イノベーション社会連携推進機構
発行責任者：木村雅和
〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1
TEL 053-478-1703
URL <http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/>

* — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * —
Copyright (c) 2008–2012
Organization for Innovation and Social Collaboration,
Shizuoka University. All rights reserved